佐賀大学教職大学院
院生ライフレポート

佐賀大学教職大学院
広報誌第４号
2022
7･8月

前期の授業が終了しました！

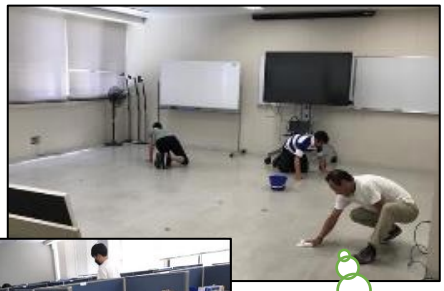
入学してあっという間に５か月が経ち、前期の授業が終了しました。授業での発表や研究など大学院１年生 20 名全員で協力し取り組むことができました。これからも助け合いながら 8,9 月から始まる実習の準備や、10月からの後期の授業に取り組んでいきたいと思います。

また、前期を通して院生同士の仲も深まっていったように思います。前期の終わりには素敵な笑顔で集合写真を撮りました！
(※撮影の時のみマスクを外しています。)

感謝の気持ちを込めて大掃除

前期の授業最終日に大掃除を行いました。院生共同研究室や図書室、印刷室など、普段私たちがお世話になっている場所を隅々まで掃除しました。役割分担をして、一人一人が感謝の気持ちをもって綺麗にすることができました。

後期からも授業や研究に励むことができる環境に感謝をして大学院生活を送りたいと思います。



このよごれは
あのときの！

実習までもう少し･･･

院１年時には事前･事後指導を含む 200 時間の探究実習があります。ストレートマスターは基盤実習、現職院生は異校種実習や関係機関実習等に臨みます。各コースで期間は異なりますが８月下旬から本格的にスタートします。この実習に向け、院生それぞれが実習先と連絡を取り合い、研究内容の説明や実習先での活動について打ち合わせ行ったり、探究実習テーマ発表会をコースごとに行ったり、実習での心構えや取り組みについて指導を頂きました。実習で多くのことを学んできます。

編集:I&T